

# 広報あかいけ

59年

4月

No.255

発行所 赤池町役場 編集 総務課 文書広報係 ☎(代表) 2004

印刷所 赤池印刷 毎月 1回発行

三月十三日に開会された、三月定例町議会の初日、香月町長は、昨年同様三カ月間の暫定予算を編成した理由や、厳しい状況の中での今後の行財政の進め方などについて、次のように施政方針を述べました。



香月 町長

昨今の社会経済の諸情勢は、日々刻々と著しく、また激しく変化しております。

とくに、国・地方を通じ公債残高が約百七十兆円、日本の人口約一億一千万人とすると、お年寄りから0歳のあかちゃんまで国民一人当たり約百五十万円の借金を抱えている計算になります。

このように国・地方とも未曾有の財政危機を迎えています。国の本年度予算の歳出面においては、臨時行政調査会による改革の方策の着実な実施をはかるなど、徹底した経費の節減合理化を行うことを基本とし、その規模を厳しく抑制しつつ、限られた財源の中で質的な充実に配慮し、あわせて歳入面においては、その見直しを行い、これにより公債発行額を可能な限り抑制することとして、予算規模は〇、五パーセントの増となっております。

(とじて保存してください)

地方財政計画においては、伸び率一、七パーセントと緊縮されていますが、地方財政全体で約一兆五千億円の財源不足が見込まれ、赤池町唯一の歳入一般財源である地方交付税においては、前年度に引き続きマイナス三、九パーセントとなっております。

このような状況下で、本町の今年度一般会計については、伸び率は、昨年と同じようにまず第一に昭和五十八年度歳入欠かんが多であります。第二に、昭和五十九年度地方交付税の伸びがなく、健全化計画との差がどの程度になるか見込みがたないということ。第三に、住宅団地の売却が今一つといったところで、五十九年度の財源見通しが不透明であるため、昨年同様三カ月の間の暫定予算の編成となりました。

今年度当初予算編成につきましては、今後三カ月間に歳入財源の適確な把握と歳出予算の再検討を健全化計画とにらみ合せながら編

成し、できれば六月定例議会に提出する予定であります。五十八年度より、なお一層の厳しいものが予測されますので、九月定例議会となることも考えられます。

このような厳しい財政状態の中で、社会福祉の充実、生活関連施設の整備等、住民福祉の向上のための施策の拡充を図らなければならないという、極めて困難な状態であり、前年同様、教育、体育、文化の物心両面の充実、産炭地振興と就労対策、同和対策、過疎対策、鉱害復旧、福祉対策等の諸事業につきましては、国や県

に対して強く要請を重ねていく所存であります。中でも緊急課題であります鉱害復旧基本計画については、早急に策定し、議会におはかりしたいと存じます。また、中学校体育館建設については、ぜひ、実施したいと思っております。

## 財源の見とおしが不透明 三カ月間の暫定予算 緊急重要で 補助対象事業を中心に

限等を勘案し、緊急重要な事業で国庫対象、および地方交付税算入事業を中心として実施していきたいと思っております。

福祉対策等につきましては、できる限り現状維持を保ちたいと思っております。赤池ニュータウンの宅地分譲につきましては、第三次公募を行い、精神的に売却に努めていきたいと思っております。

本町の大きな財産収入源である赤池ニュータウンの宅地分譲につきましては、第三次公募を行い、精神的に売却に努めていきたいと思っております。

現在の地方自治を取りまく環境は、極めて厳しいものがありますが、時の流れを正しく見きわめ、種々の問題を的確に見出し、適切な対策を講ずることが行政として重要であると考えております。

このような行政を進めるために常に新しい感覚で積極的に、かつ慎重にもの考え対処していきたいと思っております。

現状の財政状態、財源不足を各職員に更に徹底させ、住民のみならずにも理解して頂き健全財政に向って努力する所存であります。



### 議会だより



#### 3月定例町議会

## 助役に日野喜美男氏、収入役は池永久夫氏

### 議員報酬引き上げ案は審議未了

昭和59年3月3日定例町議会は、3月13日から30日まで18日間の会期で行われ、助役、収入役の選任議案や、昭和59年度一般会計暫定予算案など30の議案が上程され、29議案を原案通り可決。議員報酬の平均2%アップの議案は、議決するに至らず審議未了となりました。

また、2月に行われた予算執行状況の定例事務監査の結果が監査委員より報告され、下田川衛生組合議会など5つの一部事務組合議会の議会報告も、それぞれの議員から報告されました。

#### 補正予算

昭和五十八年度一般会計補正予算の既定の予算総額四十二億五千四百三十七万九千円に、今回、道路工事が次年度着工となったことなどの理由で、三千六百四十五万五千円が減額補正され、総額四十二億一千七百九十二万四千円に。

また、会期中に、三月末で退職する職員の退職手当組合員負担金などを計上した、三千八百万円の補正予算案が承認され、予算総額四十二億五千五百九十二万四千円となりました。

#### 人事

昭和三十八年度町立病院事業特別会計補正予算の収益的収入および支出で四億九千九百三十三万二千円、増額補正で四億九千七百六十八万八千円、資本的収入および支出で四億二千五百二十万二千円の減額補正で七百七十五万七千円になりました。



日野喜美男助役

【日野喜美男氏の経歴】  
昭和七年十二月二十六日生れ、



池永久夫収入役

#### 【池永久夫氏の経歴】

昭和三年十月五日生れ、五十五歳、大字赤池七〇八番地、町建設課長、産業振興課長、教育委員会次長を歴任。

#### 予算

昭和五十九年度一般会計暫定予算の総額十億一千三百四十九万九千円、経常経費は六月末までの経費を節減して見込んで計上。投資的経費は、民生費で集会所建設事業、労働費で開就・特開事業、土木費で前年から引き続きの二反ヶ浦、松本線舗装工事地区道路、松本吉ヶ浦、屋敷上の原線の改良工事、既設町営住宅の改善費が計

#### 4月1日改正の各種手数料

税務諸証明(納税証明など)	1枚につき200円、2枚以上は400円
印鑑証明	1件につき200円
住民票・戸籍の附票の謄抄本	1件につき200円、ただし住民票謄本については5人まで200円で1人増すごとに20円を加算
住民票および戸籍の附票の閲覧	1件につき200円
身元に関する証明	1件につき200円
印鑑登録証再交付	1件につき300円
図書閲覧	1件につき200円、ただしコピーを必要とする場合は1枚につき20円加算
水道の各種証明手数料	1件につき200円
その他諸証明	1件につき200円

※図書閲覧について個人のプライバシーや秘密に関するような書類・資料はお見せできません。

昭和五十九年度国民健康保険事業勘定特別会計予算の歳入歳出予算総額三億六千四百七十九万七千円、前年比一・九%の増。主に老人保健拠出金です。

昭和五十九年度住宅新築資金等貸付事業特別会計予算の予算総額二億七千四百五十九万九千円、対前年比二九・四%の増。

#### 条例

職員退職勧奨条例の制定について職員の新陳代謝の促進と町財政の健全化をはかるため、今回退職する職員に対して退職勧奨条例が制定されました。

集会所施設設備および管理条例の制定について町内の各集会所など公の施設の設置運営と管理を

#### 一般質問

緩和措置が取られました。

○少年非行問題について  
○婦人の地位の向上について  
○福祉対策について  
○財政問題について  
○古材の処理について  
○乾電池の水銀汚染対策について

#### 請願

○非核都市宣言を求めることに関する請願  
○年金制度改正に反対する請願の採択  
○健康保険制度改正に反対する請願の採択  
○雇用保険制度改正に反対する請願の採択  
○身体障害者の福祉施策に関する請願の厚生委員会付託継続審議

### 議会だより



#### 3月定例町議会

## 助役に日野喜美男氏、収入役は池永久夫氏

### 議員報酬引き上げ案は審議未了

昭和59年3月3日定例町議会は、3月13日から30日まで18日間の会期で行われ、助役、収入役の選任議案や、昭和59年度一般会計暫定予算案など30の議案が上程され、29議案を原案通り可決。議員報酬の平均2%アップの議案は、議決するに至らず審議未了となりました。

また、2月に行われた予算執行状況の定例事務監査の結果が監査委員より報告され、下田川衛生組合議会など5つの一部事務組合議会の議会報告も、それぞれの議員から報告されました。

#### 補正予算

昭和五十八年度一般会計補正予算の既定の予算総額四十二億五千四百三十七万九千円に、今回、道路工事が次年度着工となったことなどの理由で、三千六百四十五万五千円が減額補正され、総額四十二億一千七百九十二万四千円に。

また、会期中に、三月末で退職する職員の退職手当組合員負担金などを計上した、三千八百万円の補正予算案が承認され、予算総額四十二億五千五百九十二万四千円となりました。

#### 人事

昭和三十八年度町立病院事業特別会計補正予算の収益的収入および支出で四億九千九百三十三万二千円、増額補正で四億九千七百六十八万八千円、資本的収入および支出で四億二千五百二十万二千円の減額補正で七百七十五万七千円になりました。



日野喜美男助役

【日野喜美男氏の経歴】  
昭和七年十二月二十六日生れ、



池永久夫収入役

#### 【池永久夫氏の経歴】

昭和三年十月五日生れ、五十五歳、大字赤池七〇八番地、町建設課長、産業振興課長、教育委員会次長を歴任。

#### 予算

昭和五十九年度一般会計暫定予算の総額十億一千三百四十九万九千円、経常経費は六月末までの経費を節減して見込んで計上。投資的経費は、民生費で集会所建設事業、労働費で開就・特開事業、土木費で前年から引き続きの二反ヶ浦、松本線舗装工事地区道路、松本吉ヶ浦、屋敷上の原線の改良工事、既設町営住宅の改善費が計

#### 一般質問

緩和措置が取られました。

○少年非行問題について  
○婦人の地位の向上について  
○福祉対策について  
○財政問題について  
○古材の処理について  
○乾電池の水銀汚染対策について

#### 請願

○非核都市宣言を求めることに関する請願  
○年金制度改正に反対する請願の採択  
○健康保険制度改正に反対する請願の採択  
○雇用保険制度改正に反対する請願の採択  
○身体障害者の福祉施策に関する請願の厚生委員会付託継続審議

### 議会だより



#### 3月定例町議会

## 助役に日野喜美男氏、収入役は池永久夫氏

### 議員報酬引き上げ案は審議未了

昭和59年3月3日定例町議会は、3月13日から30日まで18日間の会期で行われ、助役、収入役の選任議案や、昭和59年度一般会計暫定予算案など30の議案が上程され、29議案を原案通り可決。議員報酬の平均2%アップの議案は、議決するに至らず審議未了となりました。

また、2月に行われた予算執行状況の定例事務監査の結果が監査委員より報告され、下田川衛生組合議会など5つの一部事務組合議会の議会報告も、それぞれの議員から報告されました。

#### 補正予算

昭和五十八年度一般会計補正予算の既定の予算総額四十二億五千四百三十七万九千円に、今回、道路工事が次年度着工となったことなどの理由で、三千六百四十五万五千円が減額補正され、総額四十二億一千七百九十二万四千円に。

また、会期中に、三月末で退職する職員の退職手当組合員負担金などを計上した、三千八百万円の補正予算案が承認され、予算総額四十二億五千五百九十二万四千円となりました。

#### 人事

昭和三十八年度町立病院事業特別会計補正予算の収益的収入および支出で四億九千九百三十三万二千円、増額補正で四億九千七百六十八万八千円、資本的収入および支出で四億二千五百二十万二千円の減額補正で七百七十五万七千円になりました。



日野喜美男助役

【日野喜美男氏の経歴】  
昭和七年十二月二十六日生れ、



池永久夫収入役

#### 【池永久夫氏の経歴】

昭和三年十月五日生れ、五十五歳、大字赤池七〇八番地、町建設課長、産業振興課長、教育委員会次長を歴任。

#### 予算

昭和五十九年度一般会計暫定予算の総額十億一千三百四十九万九千円、経常経費は六月末までの経費を節減して見込んで計上。投資的経費は、民生費で集会所建設事業、労働費で開就・特開事業、土木費で前年から引き続きの二反ヶ浦、松本線舗装工事地区道路、松本吉ヶ浦、屋敷上の原線の改良工事、既設町営住宅の改善費が計

#### 一般質問

緩和措置が取られました。

○少年非行問題について  
○婦人の地位の向上について  
○福祉対策について  
○財政問題について  
○古材の処理について  
○乾電池の水銀汚染対策について

#### 請願

○非核都市宣言を求めることに関する請願  
○年金制度改正に反対する請願の採択  
○健康保険制度改正に反対する請願の採択  
○雇用保険制度改正に反対する請願の採択  
○身体障害者の福祉施策に関する請願の厚生委員会付託継続審議



新しく院長に就任した石尾哲人先生

## 町立病院院長に石尾先生が就任

四月から町立病院に新しい院長が就任されました。石尾哲人先生、四十九歳です。石尾先生は、かつて昭和四十一年から四十三年まで、赤池町立病院

に勤務された経験があり、町議会病院運営特別委員会や町、その他各方面からの強い要望で、今回、院長として就任されました。

#### 略歴

昭和三十七年山口県立医科大学卒業。帝人病院、宇部興産中央病院などに勤務。山口大学医学部研究員のうち昭和四十八年学位取得。その後、徳山曹達徳山病院内科部

長などを歴任し、昭和五十二年徳山市で開業。昭和十年三月二十七日生れ。

#### 就任の挨拶

今回、赤池町立病院の院長に就任しました石尾です。私は、十七年前、赤池町立病院創設時に当地に勤務した経験を生かして、再度、町立病院の発展と赤池町、ひいては下田川の医療の発展、充実のために、その任務にあたりたく思っています。十七年前に比べ、町立病院とそ

#### その他

赤池町土地開発公社定款の変更について理事の定数が十三人とあるのを、十三人以内と変更し、

字の区域の変更について赤池ニュータウン・緑ヶ丘ニュータウンの総合住宅団地内に二つの字があるため字瀬ヶ谷地域を字二反ヶ浦に編入することが承認されました。

しかし、医療は地域住民からの温いご協力を得なければ実践できません。医療従事者と病者がかかり悩んでいる人びととのコミュニケーション、意志の疎通がなくては良い医療はでき

#### お願い

私たち医療従事者も、従来の病院の形態にとらわれず前向きに新しい医療に取り組む心構えでありますので、町民のみなさんの心からのご協力と、病院に対してのアドバースがあれば、医療以外のどんなことでも、参考になるご意見は聞くようにしたいと思っております。

今後ともよろしくご協力くださいますようお願い申し上げます。

石尾 哲人